

令和6年度事務事業外部評価結果

NO.	事業名	評価結果	主なコメント
①	自治会活動助成事業	B:改善し継続	<p>○自治会はまちづくりの基本になる組織であり、子育て世代の加入が必要である。自治会単独での活動継続は難しく、学校を中心とした組織やネットワークと連携し、合理化・効率化を図る必要がある。ただし、地域ごとに事情が異なるため、連携等については時間を掛けて慎重に進める必要もある。</p> <p>○自治会加入による負担増を防ぐため、DX化による効率化が必須。自治会自体の考え方や制度の在り方についても再考し、既存の方法とは異なった方法も検討する必要がある。</p>
②	自主防災組織活動支援事業	B:改善し継続	<p>○自主防災組織の設置数や参加人数を増やすためには、活動している方の声や事例紹介など、活動の「見える化」を行い、運営や参加へのハードルを下げる必要がある。</p> <p>○災害時に活動できる若年層へのアプローチが特に重要であり、学校教育やスポーツ関連のネットワークなど、他領域と連携しながら積極的な広報活動を行う必要がある。</p>
③	病後児・体調不良児保育事業	B:改善し継続	<p>○病後児保育という性質上、児童の病状が対応可能かどうかの判断が難しい。利用者が医学的知識を必ずしも持っているとは限らないので、利用案内の見直しや利用申請のオンライン化などの利便性向上に努める必要がある。</p> <p>○市立病院等との連携を加速させ、利用できる園を増やしていくとともに、子育て世代のニーズ調査や他市事例の収集など、調査研究も必要である。</p>